

市長記者会見記録

日時：2026年10月2日（金）14時00分～14時21分

場所：本庁舎2階 記者会見室1・2

議題：【話題提供】市長の海外訪問（アルメニア、シンガポール）について

<内容>

【話題提供】

《市長の海外訪問（アルメニア、シンガポール）について》

【司会】 ただいまより、定例市長記者会見を始めます。本日、話題提供といたしまして、市長の海外訪問についてがございます。

それでは、まず福田市長から話題提供について御説明いたします。市長、よろしくお願いいたします。

【市長】 アルメニア共和国で開催されます生物多様性条約第17回締約国会議（C B D—C O P 1 7）とシンガポールで開催されるスタートアップ企業イベントS W I T C Hへの登壇について話題提供させていただきます。

ネイチャーポジティブなどの地球環境に関する世界的な潮流、気候変動などの社会環境の変化などに対する本市の基本的な考え方や取組内容などについて発信するため、この10月にアルメニア共和国で開催される生物多様性条約第17回締約国会議に10月20日から24日まで参加するものでございます。

また、川崎臨海部の南渡田地区を世界中からスタートアップ企業が集まるグローバルな拠点とするため、同時期に開催されるアジア最大級のスタートアップ企業向けイベント「S W I T C H」において、関係者とともにステージ登壇するものでございます。

なお、期間中の主な予定につきましては、別紙の資料を御覧いただければと思います。

私からの説明は以上でございます。

【司会】 それでは、ただいま御説明いたしました件と市政一般に関する質疑を併せてお受けいたします。

それでは、初めに幹事社様、よろしくお願いいたします。

【神奈川（幹事社）】 幹事社、神奈川新聞です。まず、このアルメニア共和国で開催されるほうのやつとS W I T C Hのほうですけども、アルメニア共和国のほうは、市長はどのような役割というか、どういう予定というか、何をするかみたいなのを教

えてください。

【市長】 全てを今、オープンにできるわけではないんですけれども、C O Pの中で開催される公式イベントで私が登壇させていただきまして、川崎の取組を発信するということであります。

【神奈川（幹事社）】 市長自身は、これの登壇によって何を伝えたいとか、どういうことを、川崎市としてのメッセージを世界に発信したいと思われていますか。

【市長】 生物多様性の取組について、川崎が先進的に、我が国の中でも取り組んできているということを発信していくということと、その先にしっかりと結果を出すという取組の今の方向性と、今やっていることについてしっかり発信していこうと思っています。

【神奈川（幹事社）】 あと、S W I T C Hのほうですけれども、こちらもスタートアップ企業を呼び込むために、すごい大事な登壇になりそうな雰囲気はありますけれども、そこら辺の意図は。

【市長】 まず、経済産業省ですとかJ E T R Oとか、あるいは南渡田で拠点形成を共に進めておりますU M I、こういった方たちと共に登壇して、シンガポールのスタートアップを南渡田に誘致してこようという、非常に重要な取組であると考えています。

また、シンガポール政府関係者とも意見交換をさせていただくようにしているということでございます。

【神奈川（幹事社）】 ちょっと勉強不足で恐縮なんですけれども、こんな長期にわたって海外に行くというのは、あったことですか。

【市長】 今まで、これだけ長期は初めてかもしれません。ちょっと私も記憶にないなと思っています。

【神奈川（幹事社）】 ちょっとあれなんですけれども、大体お幾らぐらいで、どういう職員が随行するとか、その辺りを教えてください。

【市長】 まず、私分の旅費が約270万円、それからアルメニアが職員3名とシンガポールが職員2名ということになっておりまして、職員の旅費分が約320万円ということになっております。

【神奈川（幹事社）】 計5人分で320万と。

【市長】 そうです。5人分です。

《令和8年台風第25号について》

【神奈川（幹事社）】 ありがとうございました。

ちょっと話は変わるんですけども、改めてですけども、9月21日、台風25号についてなんですけれども、千葉、神奈川で大きな被害をもたらしましたと。三浦半島では土砂崩れが100か所以上起きるなど、ちょっと想定を超えるような災害が起きましたけれども、川崎市として改めて今回のことをどういうふうに受け止めて、また、教訓とするようなことはありましたか。

【市長】 神奈川県内でも、横須賀市、三浦市、そして千葉県内でも甚大な被害が起きているということで、今回、川崎市は大きな被害はなかったものの、ちょっとずれていけば同様なことが起こり得ることだと思いますので、より一層、緊張感を持ってやっていかなければならないなと思っていますが、一番降った9月21日も、9時時点で最大雨量が288ミリを川崎区で観測しまして、これはちょっと想定を超える雨量でございますので、本当に大きな被害がなかったのは奇跡的というぐらいなものですから、そういった意味では、こういったことがいつでも起こり得るんだということを肝に銘じて、対応を取っていかなくちゃいけないなと思っています。今回、2段階で避難所の開け方をしましたけれども、とにかく市民の皆さんに避難の仕方を、どこに避難するのか。避難所に行くだけが避難ではないですし、在宅で避難するというやり方ですとか、あるいは心配であれば早めに、雨が降っている前から、強くなる前から避難していただくみたいな、そういうことも備えていかなければ、しっかり周知し、広報していかなければならないなと思っています。そういう意味では、ハード、ソフト、両方をしっかりやっていかなければならないと思っています。

【神奈川（幹事社）】 市長も今おっしゃられたとおり、想定を上回る降雨は今後も起こり得るというところで、これまでのハザードマップとか、土砂災害対策の前提はこのままでいい、それとも見直さないといけないのか、見直しが迫られているのか、どう受け止められていますか。

【市長】 ハザードマップのところ、浸水エリアは非常によくできていると思います。それを住民の皆さんがよく見ていただいて、自分の地域がどの災害であればどういうリスクがあるのかということをしっかり認識していただいて、それぞれの災害に沿った対応をしていただくということが、まず大事だろうと思っています。

ハード整備というのは、長期間かつ多額の財政負担がかかりますので、計画的に進めていくものは進めていきますが、一足飛びという形にはいきませんので、そういった意味では、長期的なハードと、それから短期的なソフトというものをしっかり組み合わせることが大事なかなと思っています。

【神奈川（幹事社）】 そういう意味では、豪雨の激甚化とかインフラの老朽化などで、

この間、議会のほうでも上下水道管を扱う上下水道局と道路を扱う建設緑政局の連携をより深めたり、組織一体運営なども考えるべき、一体で連携してもうちょっと一気に取り組める体制づくりも考える必要性があるんじゃないかという意見も上がっていましたけれども、市長は、その辺りはどういうふうに使われているか。

【市長】 今回の大雨の台風のときもそうでしたけれども、早めに、金曜日の時点で既に警戒本部を立ち上げて、各局がそれぞれどういうふうに使われているかに当たっていかという事前の連携、そして、降雨時においても、かなり細かく、システムなどを使いながら情報の横の連携もできていると思いますので、さらに連携よくするように努めていきたいと思っています。

【神奈川（幹事社）】 組織の見直しは、まだそこまで踏み込んだ話とかは。

【市長】 組織の見直しですか。

【神奈川（幹事社）】 というか、上下水道局のところと建設緑政局の一部分を……。

【市長】 それは、現時点では、まだ考えておりません。

《横浜市長選挙について》

【神奈川（幹事社）】 あともう一点、話変わるんですけども、隣の横浜市長選、4日告示となりますけれども、ちょっと言いづらい部分もいろいろあると思うんですけども、改めて今回、横浜市と特別市を含め、様々な施策の連携をしていますけれども、市長が期待する横浜市長選、何かポイントはありますか。

【市長】 任期途中での辞職で、選挙という形ですので、ちょっと通常とは違った選挙になるんだろうなと思いますが、日本最大の都市の首長を決める選挙ですし、川崎市にとっては隣接都市であり、特別市などを一緒に進める最も大事なパートナーの都市であると思っていますので、そういった意味では、横浜の市民の皆さんの選択を私たちもしっかり見ていきたいなと思っています。

【神奈川（幹事社）】 すみません。幹事社、以上です。

【司会】 それでは、そのほか御質問される場合には挙手をお願いいたします。

時事通信さん。

《大都市制度について》

【時事】 時事通信社です。また特別市のお話になるんですけども、17日に地制調の小委員会がありまして、24日には知事会と指定都市市長会との意見交換会がありまして、地制調のほうでは制度化のメリットという意見も出ていたようなんですけども、知事会と指定都市市長会の、これは改めてなんですけれども、この点が説明しなきゃいけないかなと、今後どういうふうに、何か新たに気づかれた点とか、そう

いった面はあるんでしょうか。

【市長】 知事会との意見交換の後の会見でもちょっと申し上げたんですが、なかなかお互いの意見の隔たりというのは埋まらなかったかなと思っています。ただ、知事会と指定都市市長会が同じテーブルに着いて、この特別市のことについて意見を交わせたということは意義があるものだったと思います。引き続き、知事会も含めていろんな関係者の皆さんと意見交換をさらに重ねて、理解いただけるような御説明をさせていただきたいなと思っております。

【時事】 もう決まっているとかはありますか、予定で。

【市長】 まだスケジュールのところで何か決まっているものはございませんけれども、11月12日は、また指定都市市長会がございまして、そこでもプロジェクト会議が開催される予定となっておりますので、知事会との意見交換の話なども当然話題になると思いますので、今後の対応についてもしっかりとそこで議論することになると思います。

【時事】 ありがとうございます。またそのときにお聞きしたいと思います。

【司会】 そのほか御質問いかがでしょうか。

読売新聞さん。

《横浜市長選挙について》

【読売】 読売新聞です。また横浜市長選のことで改めてお聞きしますが、今、横浜市長は大事なパートナーということでしたけれども、次の市長に期待することというのはありますでしょうか。

【市長】 うーん、期待することですか。うーん……。

【読売】 特に特別市のこと……。

【市長】 特別市、そうですね。特別市は一緒に取り組んでいる、重要な局面を迎えているテーマでありますので、そこを一緒にできる方だとありがたいなと思っています。

【読売】 乱立のような様相なんですけれども、どなたかを応援するとかという、そういう姿勢というのはいかがなんでしょうか。

【市長】 いえ、私は。

【読売】 どなたも。

【市長】 どの候補がということではありません。

【読売】 応援の依頼があった場合には、どうされますか。

【市長】 隣町同士すぎて、非常に影響が大きいものですから、応援に行くというこ

とはございません。

【読売】 今までも横浜市長選について、応援に駆けつけるというようなことはやったと。

【市長】 やったことはございません。

【読売】 今回も同じ。

【市長】 これまでどおりの対応ということです。

【読売】 どなたに、何か応援するということはもう一切ないということですか。

【市長】 はい、そういうことです。

【読売】 はい、分かりました。

【司会】 そのほか御質問いかがでしょうか。

t v k さん。

《令和8年台風第25号について》

【t v k（幹事社）】 テレビ神奈川です。よろしくお願いします。先ほどの台風25号の関連で一つ質問させていただきます。三浦市内の小学校で、土砂災害警戒区域内の学校で土砂崩れが発生して、今も通学できない状況が続いています。先ほど市長のお話で、ハード、ソフト両面から見直したいということだったんですが、川崎市内の学校での土砂への対策について、見直すお考えだったりなど、もしあれば教えてください。

【市長】 具体的に何か今見直しをかけるという形にはなっていないと私自身では今把握しておりますけれども、土砂災害警戒区域内にある小学校というのは、当然、対応が違ってきますので、例えばレベル3、レベル4となった段階で。そこは、それなりの対応でしっかりやっていくということだと思います。

《多摩区中野島2丁目建物火災について》

【t v k（幹事社）】 ありがとうございます。あともう一点、昨夜か今日未明に多摩区内で火災が起きて、消防隊員が巻き込まれたということで、隊員が今、重傷、重体の状態ということなんですが、このことについて市長からコメントいただけたらと思います。

【市長】 実は1時前に隊員が亡くなられたという一報を消防局から受けまして、活動中の殉職ということで、貴い命が失われたということに、本当に残念に思っています。火災で亡くなられた方もいらっしゃいますし、うちの職員も亡くなったということで、本当に残念な気持ちで痛恨の極みです。まだ一報を受けたばかりですので、そういう意味では、今後、現場検証などが行われるんだと思いますが、一報を受けて、

本当に残念な気持ちでいっぱいです。

【t v k（幹事社）】 ありがとうございます。担当からでいいんですが、亡くなられた方の今分かる情報を教えていただきたいんですが、年代だったり、状況がどこまで分かっているか伺えますか。

【消防局】 消防局です。今の質問にお答えいたします。多摩区内でありました火災現場において、1名の消防職員が亡くなっております。年齢は39歳、階級は消防士、12時23分に亡くなられたという一報を受けております。所属につきましては、高津消防署久地出張所、久地消防隊に所属する職員でございます。

以上でございます。

【t v k（幹事社）】 後ほどリリースで正式にいただければと思います。ありがとうございました。

【司会】 そのほか御質問いかがでしょうか。

共同通信さん。

【話題提供】

《市長の海外訪問（アルメニア、シンガポール）について》

【共同】 共同通信です。アルメニアの件についてお聞きしたいんですけども、ちょっと事務的なことになるかもしれないです。これは、川崎市以外にも日本の地方自治体のほうからの参加だったり、発信、しゃべる場が何かあったりするのかな、それとも川崎市が代表という形なんでしょうか。

【市長】 私が聞いているのは、市長ではありませんけれども、神戸市も参加すると聞いていますが、担当、来ていますか。

【建設緑政局】 建設緑政局です。今回、市長に御参加いただきます、資料の3枚目でございます24日の生物多様性自治体サミットへの参加ということで、こちらにつきましては、まだ参加の自治体が明確になっておりませんので詳細は申し上げられないんですけども、日本のほうからは、市長からもありました神戸市さんと愛知県さんが参加するとお聞きしている状況でございます。

以上でございます。

【共同】 ありがとうございます。サミットへ参加して、福田市長のプレゼンの場もあるということなんですよ。

【建設緑政局】 はい。

【共同】 分かりました。ありがとうございました。

【司会】 そのほか御質問、よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして市長記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

(以上)

・この記録は、明らかな言い直しや言い間違い、質問項目など整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当